

TOHATSU

PARTNER

2009年5月29日発行／春号

VOL.78

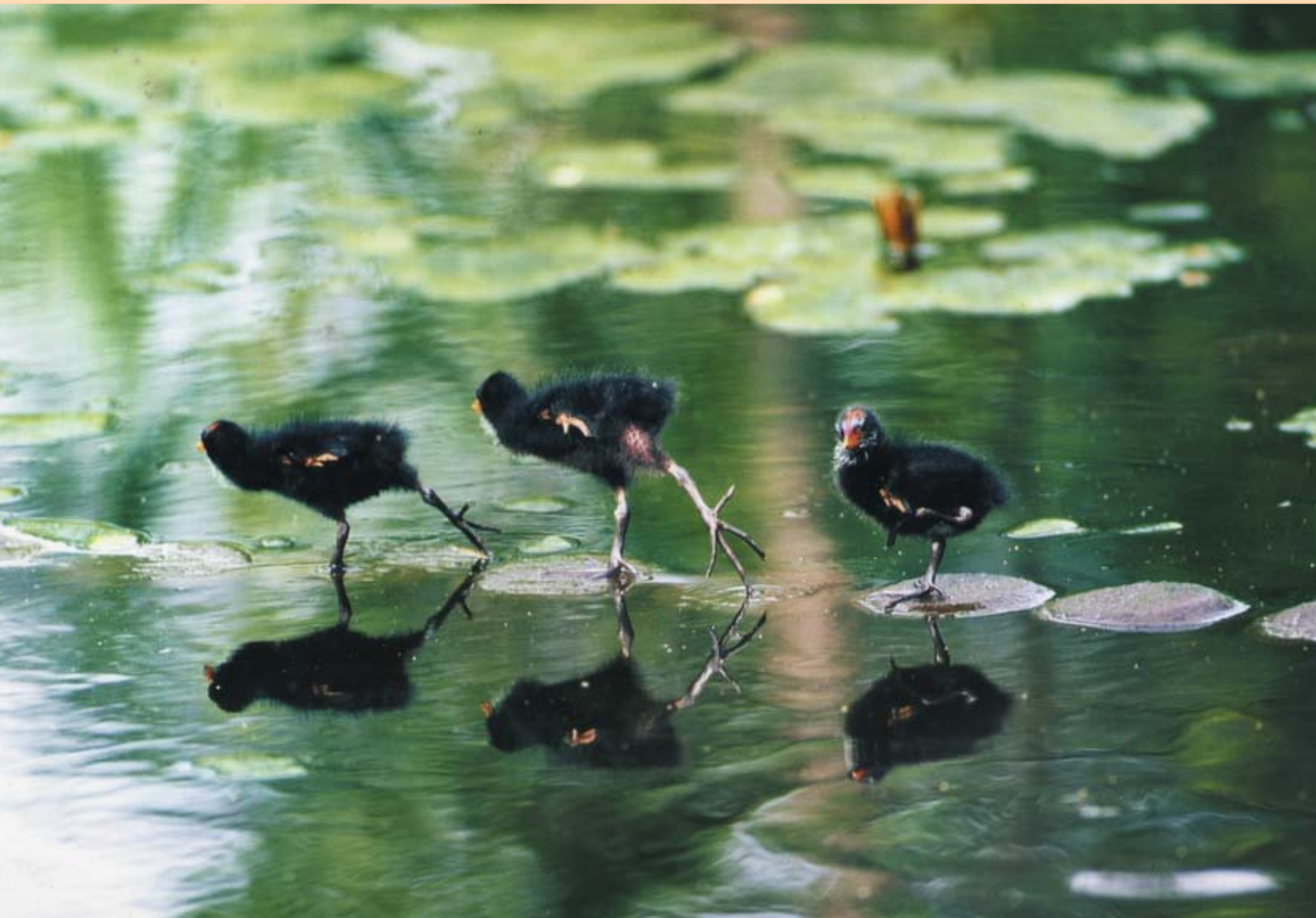


PHOTO:パンのあちゃん(石神井公園)

C O N T E N T S

- 大阪市へ「ナビゲーターN-50」29台納入 P2
- 香港で Fire Asia 2009 開催 P2
- 軽四駆消防車の大量納入相次ぐ(新潟県) P3
- 八戸市へVF53AS-T付き積載車納入 P3
- 神奈川県寒川町へ多目的積載車I型納入 P3
- 2009ジャパンインターナショナルボートショー P4~5
- 2009名古屋マリンフェスタ P4~5
- 2009九州マリンフェスタ in 西福岡マリーナ P4~5
- 第24回広島ボートショー P4~5
- 新潟ボートショー P4~5
- 協立マリンがトーハツボート試乗会 P6
- 平成20年度消防関係業界の功労者を表彰 P6
- 商工会議所板橋支部が青年技能者を表彰 P6
- 東北トーハツポンプ会春季総会 P7
- 九州・山口トーハツポンプ会春季総会 P7
- 中部トーハツポンプ会春季総会 P7
- 新型VF21ASポンプ発表会相次ぐ 裏表紙

救助活動に格段の威力

大阪市へ「ナビゲーターN-50」29台納入

ビル火災などによる死亡事故が相次ぐ中、効果的な救助活動を可能にする熱画像直視装置(ナビゲーターN-50)29台が、去る3月23日、大阪市消防局へ納入されました。

このナビゲーターN-50は、ヘルメットへの装着型。両手が自由に使えるメリットがあることから同消防局では早くから注目。また数回のデモの実施により、既存の手持ちタイプと比べて格段の使い易さを実感。同市の救助隊員から非常に高い評価を得ていました。この度の納入により、同市内28の

救助隊と機動指揮支援隊へ配備されます。

昨年9月、浪速区で起きた個室ビデオ店の火災で多数の死傷者を出した経緯があり、濃煙・熱気の中でいち早く室内に入り、人命救助や火元検索を行える「ナビゲーターN-50」の機動力性が、今回採用の大きな決定要因になりました。

3月26日には、報道機関向けに同N-50を使った救助訓練が公開され、より素早い救助活動の様子を見ることができました。「両手が使えるため、より安全に、より格段に救助効率がアップした」と救助隊員の一人がテレビ局の取材に応じていたのが、とりわけ印象的でした。

(防災関西/田村)



去る2月9日～11日、香港の現地消防局主催による消防施設展「Fire Asia 2009」が開催され、代理店のハウスウイングとトーハツによる消防ポンプの出展を行いました。近年、香港では英国を除いた諸外国からの購入規制が緩和される傾向にあり、アジアだけでなく欧州・米国などからも来客が訪れるなど盛況でした。

ブースでは現行の2ストロークモデルを含めた計5機種を展示。ひときわ目をひいたのが壁一面に配された4ストロークモデルのポスターとブースを占領した実機たち。期待通り新発売の4ストロークポンプには高い関心が寄せられ、ポンプの描く美しい曲線とデザイン性は、来場者だけでなくハウスウイングの看板娘 Leahちゃん(リアちゃん/写真)も大のお気に入り。

今後、香港での商機を逸しまいと奮迅する我々に、ひとときの和みと確かな手ごたえを与えてくれました。(防災営業部海外課/宮川)

香港で Fire Asia 2009 開催



新潟県 胎内市／村上市へ 軽四駆消防車の 大量納入相次ぐ

昨秋11月、そして今春3月、新潟県下の胎内市および村上市へ、トーハツ軽四駆消防車が相次ぎ大量納入されました。

村上市では、市町村合併後では初めての消防車配備で、軽トラックタイプ1台、デッキバンタイプ7台の大量納入となりました。また胎内市では、積載車や手引き台車の老朽化に伴う更新需要もあって、デッキバンタイプ5台の大量納入。両市とも、積載ポンプには環境に優しく扱い易い4ストロークエンジン搭載のVFを採用して頂きました。また両市



とも消防団への交付式の後には取り扱い説明を実施。各消防団員は、電動油圧式アームリフター装備車両と最新式VFポンプの取り扱い説明とあって、目を輝かせながら聞き入っていました。

胎内市における交付式では、消防団長が「配備された消防車が今後の地域防災のシンボルになって欲しい」と挨拶。文字通り地域の安全・安心のシンボルとなるべく、両市消防団の皆様のご発展を祈念申し上げます。なお、販売に大変ご尽力頂いた(株)宮島工業所様には厚くお礼申し上げます。

(防災中央／伊藤)

神奈川県 寒川町へ 「多目的積載車Ⅰ型」 を納入

神奈川県寒川町の消防本部にて去る1月28日、VF63 ASを搭載した多目的積載車Ⅰ型が納入されました。寒川町には四方八方からの災いを除くという八方除で有名な寒川神社があり関東各地から参拝客で賑わうところです。午前9時から配備式が行われ、山上貞夫町長から中島啓介団長へ鍵の伝達が行われ町内の第9分団(大蔵地区)に配備されました。

配備式後の取扱説明には実際に水出しをして始動から放水まで静粛を極めたエンジン音に大変感激していました。またⅠ型は資機材を多くするためにスペースを最大限に確保した積載車のためレスキューキット他を無駄なく取り付けることが出来ました。

最後になりますが、採用にご尽力頂いた寒川町消防本部様には、あらためて厚くお礼申し上げます。

(防災中央／田中[映])



八戸市 消防団へ 4ストローク「VF53AS-T」 ポンプ付き 積載車(固定配管)を納入

青森県八戸市に、去る2月26日、4ストロークエンジンの全自動タイプ「VF53AS-T」ポンプ搭載の固定配管式積載車を納入。同日、消防本部前で行われた納入式の後、同市消防団の館分団二班に引き渡されました。



このあと積載車は、国宝の赤糸威鎧(あかいとおどしよろい)でも有名であり、鎌倉時代より南部藩の総鎮守として尊崇された南部一之宮・櫛引八幡宮で安全を祈願。また取扱説明を実施した後は、同八幡宮の防火池を水源に放水訓練を実施しました。機関操作は両側板のリモートパネルから行え、しかも静粛を極めたエンジン排気音。団員ほか関係者一同すっかりご満悦の様子。一方、放水訓練は実践しながら、残雪の積もった境内で真剣に放水する館分団員の表情が、ひとさわ印象的でした。

なお、この度VF53AS-Tをご採用頂いた館分団の栄田正勝分団長様をはじめ多くの関係者には深く感謝申し上げます。また納入にご尽力下さいました八戸市の互光産業(株)様には厚くお礼申し上げます。

(防災営業部／青山)



第24回広島ポートショー“マリングランフェスタ”

◆◆◆◆◆「夏目」到来でムード急上昇!◆◆◆◆◆

桜も残る4月18日/19日、中国マリン事業協会主催の広島ポートショー“マリングランフェスタ2009”が観音マリーナで開催されました。両日とも好天続き。「真夏日」を思わせる気温上昇でムードも上昇。会場内は一気に活気付きました。

展示会場は、陸上・海上の両コーナーに分けられ、陸上展示コーナーでは、水上バイク、ミニボートをはじめ、航海用計器用品、アウトドアグッズ、マリングッズなどの展示販売を実施。多くのボートオーナーなどから質問攻めにあって大忙しの態。またミニボート・ブースでは、桟橋で試乗体験をしたご家族がさっそく同ブースを訪れ価格交渉に入る光景なども見られました。

一方、海上展示コーナーでは、各社のラインナップをはじめ一押しモデルが並ぶ中、トーハツは直噴船外機115馬力をセットしたTF250SCなどを展示。使い勝手の良さ、セット・ボートならではの価格のな有利さ、等々をアピール。またTF-220やTF-225をお持ちのオーナーさんも訪れ、買い替えを念頭に熱心な質問をしていました。

ミニボートに試乗できる体験操船コーナーの桟橋では、他の子供イベントと同じく試乗希望の長蛇の列ができ、“不況、どこ吹く風”といった風情でした。またその他のイベントでは、全国海の駅連絡協議会が同マリーナで開かれ、講師として高橋唯美さんが招かれました。唯美さんは、東京から“広島ゆたか海の駅”を目指し、この度21フィート艇で無事クルージングを終え、その愛艇「レッドミニ号」と共に会場入り。可愛らしい容姿が人気を集めていました。

今回のマリングランフェスタは、お客様へ事前にご案内頂いたおかげで、例年にも増して数多くのご成約をいただきました。ご支援下さいました販売店の各位には心よりお礼申し上げます。
(マリン関西/田中)



春のボートショー開催!



高浜市で

「2009名古屋マリンフェスタ」開催



桜の便りとともにマリンレジャーも次第に活発化。愛知県高浜市にあるNTPマリーナでも、去る4月3日から5日までの3日間、「2009名古屋マリンフェスタ」が開催され、海のレジャーム

ードを盛り上げました。

トーハツは、いま人気のベストセラー艇TF-250SC及びマーベラス21aの2艇を投入。ユーザー拡大へ、今年の日玉商品としてアピールしました。熱心なボートファンのおかげで、2日目雨に見舞われたものの終日ユーザーが絶えることはなく、トーハツボートの評判も上々。本格的なシーズンinを前に大いに期待を抱かせる3日間でした。

(マリン中部・菊谷)



本格的なマリンシーズンの到来を告げる「九州マリンフェスタ IN 西福岡マリーナ」が、去る4月11日/12日の両日、西福岡マリーナの特設会場で開かれました。西福岡マリーナは、マリノアシティと言うアウトレットモールを中心とした複合商業施設の一角にあります。また同商業施設には大小2つの観覧車があり、その1つ「エバークリーンスカイドリーム」は障害者も利用できる日本一大きい観覧車だそうです。

このリゾート・ムードに溢れた環境の中で催された今回の「2009九州マリンフェスタ」は、普段マリンレジャーに縁の薄い人々からも高い関心を集め、期間中3,000人余の入場者を記録しました。

トーハツでは、MD70B船外機を搭載したレジャーボートTF-21STを海上展示。リーズナブルな価格帯とコスト・パフォーマンスに富んだ性能が受け、係員に詳しい説明を求めるユーザーも多く見られました。また今回は、釣竿に取り付け釣り場の魚影などを確認することができる小型水中カメラ「BALCK-S」を実演用として展示。しかも実演では、多くのユーザーが固唾を呑んで見守る中、カメラがタイミングよく魚影をキャッチ。歓声が沸く一幕も。

「2009マリンフェスタ」も閉幕してみれば、あっと言うまの2日間でしたが、この催しが福岡・九州全域でマリンレジャーが益々活気付く起爆剤になって欲しいと思います。

(マリン九州/小畑)



IN 西福岡マリーナ開く

2009ジャパン インターナショナルボートショー in パシフィコ横浜 From 3/12 to 3/15

春恒例、マリン業界の一大イベント「2009 インターナショナル・ボートショー」が、3月12日、華やかに開幕。しかも今年は“横浜開港150周年”街全体が活気に溢れる中で開催されました。

今年のトーハツのキーワードは“海へGO!”。この簡潔なキャッチフレーズのもとに舟艇部門

トーハツ好発進へ!



ではTF-250SC、TF-235Ⅳ SC、マーベラス21 a など3艇を出展。黒を基調としたシックな佇まいに、白い船体がひときわ映えるディスプレイ演出が成功し、トーハツ・ブースに足を留めるユーザーが大幅に増加しました。またブース正面に展示したエンジン部門では、左サイドにTLDIシリーズを、右サイドに4ストロークシリーズを配して、トーハツの2本柱を明確に印象づける戦略を展開しました。

TLDI直噴シリーズは、40馬力から115馬力までフルラインナップを展示。更に同コーナーには90馬力のカットエンジンを展示し、普段見ることのできないエンジン内部の細部に至るまで披露。多くのユーザーから

注目されました。一方、4ストロークシリーズは8モデルを展示。気軽さが魅力の免許不要小型ボート対応の2馬力、排気量をアップしたことにより従来の同馬力帯に比べ操作性が格段に向上した9.9/15/20馬力、世界初のバッテリー不要の電子制御燃料噴射装置採用の25/30馬力等々、きめ細かいラインナップでユーザーに応えました。

不安定な天候の影響もあって入場者はやや減少傾向。しかしトーハツ・ブースでは、ユーザーへの細やかな対応が功を奏し、昨年度比86%の入場者数とは思えない盛況ぶりです。まずはシーズン・イン最初の大イベントを好発進。本格的なレジャーシーズンに向け、この勢いに弾みをつけたいものです。

(マリン課/石丸)



マリンシーズン到来!

いまや春の風物詩・・・

「新潟ボートショー」開催!

回を重ねること19回。地元ボートファンから親しまれている「新潟ボートショー」は、いまや市民にとっても春の風物詩。昨年の大雪とは打って変わり今年は爽やかな晴天の中、去る4月18日・19日、新潟市の産業振興センターで開幕。オープンとともに地元ユーザーが続々来場。会場は一気に盛り上がりました。

トーハツは、ベストセラー艇のTF-250SCをはじめ、TF-235Ⅳ SC、マーベラス21 αを出展。とりわけTF-235Ⅳ SCは、フィッシングに最適な上に値段もベストプライスとあって、早々にご成約が成立。おかげ様でその他にも多くのご商

談を頂き、誠に有難うございました。期間中ご尽力頂いた(株)マリン商事様には厚くお礼申し上げます。

(マリン関東/榎本)



2009 九州マリンフェスタ

平成20年度 消防関係業界の功労者を表彰 古川ポンプ製作所 氏家英喜氏、トーハツ 船津道男氏 などが受賞



平成20年度 消防関係業界の功労者を表彰

長年にわたり消防関係業界発展に功績のあった人々を讃える「平成20年度消防関係業界功労者表彰」の式典が、去る3月13日、東京・千代田区にある東京スクワール麹町「華の間」で行われました。

消防庁長官表彰として行われるこの表彰は大変栄誉ある賞で、総務省消防庁長官が直々に授与します。トーハツ関係者では、東北ブロック岩手県・宮城県特約販売店 合資会社古川ポンプ製作所の氏家 英喜氏、トーハツ本社防災営業部の船津道男氏の両氏が、この度晴れの栄誉に輝きました。これは長年にわたる努力の蓄積が認められたもので、誠におめでとうございます。

受賞された両氏は、授賞式に次いで行われた祝賀会での席上、晴れやかな表情でカメラのフラッシュを浴び、共に今後の健闘を讃えあっていました。受賞された古川ポンプ製作所の氏家 英喜氏、トーハツ本社防災営業部の船津道男氏の両氏には、誌面を借り心からお祝い申し上げます。（防災営業部／志津川）

東京商工会議所板橋支部

板橋区の青年優秀技能者・技術者を表彰

トーハツの上杉・井上・赤尾の
三氏がめでたく受賞

東京商工会議所板橋支部（会長／齊藤 裕氏）の平成21年新年賀詞交換会が、去る1月22日、来賓者多数出席のもと東京・池袋のホテルメトロポリタンで行われました。

式典に引き続き第2回目を迎えた板橋区青年優秀技能者・技術者表彰が行われ、トーハツ（株）から駒ヶ根工場／上杉高志氏、さいたま工場／井上潤一氏、及び赤尾一樹氏の三氏がめでたく受賞。板橋区の優秀技能者・技術者の栄誉に輝きました。

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。この度表彰された三氏は可搬消防ポンプの製造に携わっており、高品質のポンプを供給す



べく日々生産技術の研鑽に努めています。

受賞後三氏は、金子社長や田中工場長と共に記念撮影。喜びを噛みしめていました。

この度の受賞、誠におめでとうございます。

（総務部／千葉）

（有）協立マリン

“2009トーハツボート試乗会 in 横須賀”開催

横浜ボートショーの熱気の余韻が残る3月21/22日の両日、トーハツボート特約店（有）協立マリン主催による「2009トーハツボート試乗会 in 横須賀」が、横須賀市内の自社特設会場で開催されました。

今回は先の横浜ボートショーに展示され好評だったTF-250SCとマーベラス21αが試乗できるとあって、開催前から試乗希望の問い合わせが殺到。主催者を喜ばせました。ところが初日は午前中あいにくの雨で係員は待機。午後、雨が上がり待ち構えていたようにユーザーが訪れ、TF-250SCで雨上がりの東京湾を疾走していました。

翌日は絶好の試乗会日和。朝のオープン待ち切れない風

情で試乗艇に乗り込むユーザーもいて、TF-250SC／マーベラス21αの各艇は終日フル稼働の大盛況。また電車やバスを乗り継ぎ、遠方から3時間近くをかけて来てくれた方などもいて、係員が感激する一幕も。各々じっくり時間をかけて次期マイ・ボートを品定めしていました。

会期中ご協力頂いた（有）協立マリンの皆様、有難うございました。（マリン関東／飯島）





九州・山口トローハツポンプ会春季総会が、去る4月7日・8日、新型VF21AS発表会と併催の形で、熊本市内のホテル日航熊本で開かれました。

冒頭、この3月29日に逝去された沖縄県の特約販売店・(有)三輝商会の浦崎社長のご冥福をお祈りし、総会がスタートしました。始めに西銘会長が「VF21ASの発表会も無事盛会裏に終わり、厳しい中ですが新年度が始まります。今期も4ストの仕様スペック

インに向け進めて行きたい」と挨拶。またトローハツ金子社長からは、トローハツの現状と景気対策や省庁における今期の消防予算の見通し、前年度拡販へのお礼などが述べられました。この後、事務局から今期の計画案が提出され、意見交換。全員一致で可決されました。

一方、各地域の状況報告では、この深刻な経済不況にどう対応していくべきかを巡って、積極的な意



見が出されました。中には野球のWBCキャンプ地になった地域の経済効果や、福岡県が優勝した第21回全国消防操法大会を追い風に利用すべきだ、等々の話題も続出。後半はポンプ拡販コンクールの優秀店の表彰も行われるなど、終始和やかに進行。閉会後の懇親会が待たれる春季総会でした。

(防災九州／小河)

東北トローハツポンプ会 春季総会 開催

東北トローハツポンプ会の春季定例総会が、去る4月3日、前日の新型VF21A(S)ポンプ発表会に引き続き、会場を仙台市内のホテルに移して開催されました。

総会は同会・鳴海会長による冒頭の挨拶の後、事務局より平成20年度事業報告、及び会計監査報告があり、いずれも承



認されました。平成21年度の事業計画案では、次の秋季総会を「中国防災展」の見学ツアーにする事を採択。総会を終了しました。



総会に引き続き開かれたポンプ会では、鳴海会長、弊社金子社長の挨拶に続き、

防災営業部の青山次長

から業界の近況や販売状況が報告されました。また志津川係長からは防災の資機材関連などが報告された後、活発な意見が交わされました。

新型ポンプ発表会から春季総会へと2日間にわたったイベントも無事閉幕。販売店の皆さん大変お疲れ様でした。

(防災東北／中島)

九州・山口トローハツポンプ会 春季総会 開催

中部トローハツポンプ会 春季総会 開催

中部トローハツポンプ会の今年度春季総会が、去る4月16日、トローハツ駒ヶ根工場内で行われた新型VF21ASポンプ発表会と同時開催されました。

総会は平成20年度販売コンクールの表彰式をはじめ、会計報告、平成21年度の活動方針などを確認。また今秋開催予定の秋季総会に関する提案等々が行われましたが、とりわけ多かったのが「新型VF21AS」のデモ実施と日程への要望で、トローハツも要望に応えるべく早急に調整することになりました。

今後もメーカーと販売店が共に一致団結し、更にシェアアップを図ることを確認。閉会しました。

(防災中部／福田)

待望のC-1級/4ストローク「VF21ASポンプ」登場!

各地ブロックで 発表会相次ぐ

この春、地球に超優しいエコ・ポンプ、C-1級で4ストロークエンジン搭載のVF21A(S)が業界に先駆けてトーハツから新発売され、早速3月19日開催の中央ブロックを皮切りに、東北ブロック(4月2日)、九州・山口ブロック(4月7日)、関西ブロック(4月16日)、中部ブロック(4月16日)、そして4月22日の北海道ブロックと、お花見気分も程ほどに発表会を相次ぎ開催。未曾有の経済不況をよそに拡販へ大いに氣勢を上げました。

各ブロックの発表会会場では、業界初のC-1級4ストロークポンプの登場とあって、期待感でムムム。それもそのはず、エンジン音・低燃費はもちろん、排ガスに含まれるCO₂など大幅に低減化。また技術部、防災営業部による技術的な概要や販売計画説明などの後行われた放水実演時には、5m、10m、20mの距離から、新型ポンプと従来ポンプのエンジン音を参加した販売店様に聞き比べて頂くなど、その低騒音ぶりを実証。「この静かさなら都心部に販売できる」と一様に自身を深めていました。

この度の発表会では、ご参加頂いた販売店様にアンケート調査を実施し「是非デモンストレーションを実施したい市町村」などを具体的に記入して頂いたところ、「デモ希望」が殺到。拡販への強い意欲が伝わってくる発表会でした。

ご多忙の中ご参加頂いた各ブロックの販売店様には、誌面を借りて厚くお礼申し上げます。
(防災営業部)



好評をいただいている VFシリーズに待望の C 級 新登場

期待のルーキー



VF3AS B2級
SB3AS B3級



C1級

VF21A(S)

VFシリーズに仲間入りした
可愛い様をよろしく!



話題の クリーン&低燃費
驚きの 低騒音・無白煙
扱い易い サイズと操作性

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090
トーハツ株式会社
トーハツパートナー編集局
編集兼発行責任者 若林 弘/小山 将